

# フォローアップ研修ネット配信 予定

介護、福祉、医療現場に従事する職員の皆様に、高い知識と技術を習得していただくために、カリキュラムの構築とともに講師の選定にも力を注いでおります。全国各地で20年以上フォローアップ研修を開催してきた実績と経験を活かし、各項目において専門的知識及び現場目線をお持ちの講師に講義を依頼しています。

※下記は配信予定の一部です。ご要望や必要性に応じて随時新しい研修を配信して参ります。また、配信予定や内容は変更する場合がございます。

参考までに、受講料を記載しておりますが、お支払いいただいた年額以外の料金は一切かかりません。

研修名 (研修会受講料)	研修内容	講師	講師略歴	配信予定
楽レク！ 遊びリテーション (¥10,800)	「遊びリテーション」は、生活の中の道具を活用することで、楽しみながら身体機能の維持向上と体力や筋力アップが期待できます。「遊びリテーション」を実践していくと、自発性や主体性、意欲の回復のみならず、生活空間の拡大、仲間とのコミュニケーション力向上等に寄与します。	大塚 洋	新しい介護研究所代表、理学療法士、介護支援専門員、福祉用具専門相談員、キャラバンメイト、生活リハビリ研究所・介護アドバイザー	配信中
生活リハビリ研修 (¥10,800)	介護には『生活行為に勝る訓練なし』という格言があります。事業所・在宅で効果抜群の解剖学・生理学を駆使した生活リハビリテクニック、環境設定の実際のケース紹介、力を引き出す介助法の実技あり。そして、コミュニケーション技法等をお伝えします。	松本健史	理学療法士、介護支援専門員、社会福祉学修士、松本リハビリ研究所所長	配信中
イマドキの若手職員を伸ばすたった3つの方法 (¥12,000)	人と関わりながら仕事を進めていく上で、最小限のストレスで、より質の高い仕事ができる自分を目指し、相手も伸びていく、そんなコミュニケーション術が学べます。イマドキの若手職員やちょっとしたモンスター職員とのコミュニケーションギャップを瞬時に気づき、よい影響（心のスイッチに入る）言語を用いて、ストレスフリーを目指します。	濱島しのぶ	株式会社しののコーポレーション代表、介護支援専門員、全米NLP協会、日本NLP協会、LABプロファイルプラクティショナー認定資格	配信中
効果的・効率的な通所介護計画の作り方・評価の仕方 (¥10,800)	通所介護計画の作成について、法令を読み解きながら基本に沿った効果的・効率的な作成方法について解説していきます。ケアマネジャーとの計画書についてのやり取りで、気をつける点や困った対応をされた時の作成時の対応方法などをご説明していきます。	梅沢佳裕	日本福祉大学福祉経営学部医療・福祉マネジメント学科助教、福祉と介護研究会35代表、社会福祉士、介護支援専門員	配信中
排泄（排尿・排便）支援の知識と技術の基礎研修 (¥10,800)	排泄介助は利用者の尊厳にも大きく関与し、介護負担のとても大きな分野です。排泄に関する悩みや問題を解決することは、介護者の介護負担を軽減するだけでなく、利用者の尊厳を守り、利用者の活動範囲を広げ、利用者のQOLの向上に繋がるはずで、排泄の基礎を学び、適切な排泄ケアを実践していただくことを目的としています。	牧野美奈子	看護師、介護福祉士、ケアマネジャー、介護予防主任運動指導員、コンチネンスアドバイザー（2007年老年泌尿器学会 学会長賞受賞）	配信中
介護現場の管理運営セミナー ～業務管理・人材育成マネジメントの具体策～ (¥12,000)	人材育成、会議・コミュニケーションのコツ、人材確保と定着、介護・看護サービスの質の向上、コンプライアンスなど、介護事業所の管理業務の「型」と「視点」を身につけてもらい、自信をもって業務にあたることのできるスキルを学んでいただけます。	榊原宏昌	天晴れ介護サービス総合教育研究所株式会社代表取締役、介護福祉士、介護支援専門員	配信中

<p><b>業務追われない一日をつくるために～業務改善を通して働きやすい職場を創る基礎研修～</b></p> <p>(¥10,800)</p>	<p>本研修では、「情報共有がうまくいかない」、「決まったことが実行されない」、「人が定着しない」、「職員の育成が上手くいかない」等をはじめとする様々な課題（新たに発生した課題も含め）に対し、現場の課題の分析を踏まえて業務改善に結び付けるためのプロセス及び手法を学んでいただきます。</p>	<p>小田昌敬</p>	<p>社会福祉士、ファシリテーター株式会社代表取締役</p>	<p>配信中</p>
<p><b>記録を充実させるための記録の基本</b></p> <p>(¥5,400 参考)</p>	<p>介護記録に関する様々な事例を交えながら、記録の目的、記録を取るにあたっての大切な視点、介護記録の効果的な付け方を学んでいただけます。</p>	<p>神 智淳</p>	<p>老年学修士、お茶の水ケアサービス学院院長、福祉サービス第三者評価者</p>	<p>配信中</p>
<p><b>介護記録の環境整備</b></p> <p>(¥5,400 参考)</p>	<p>記録の体制作りと環境整備により、記録の負担を劇的に減らせること、負担軽減により記録の充実に結び付けられること、リスクマネジメントや家族との情報共有等さまざまな記録の活用方法について解説します。</p>	<p>神 智淳</p>	<p>老年学修士、お茶の水ケアサービス学院院長、福祉サービス第三者評価者</p>	<p>配信中</p>
<p><b>集中して仕事に取り組むためのメンタルトレーニング</b></p> <p>(¥12,000)</p>	<p>イライラやストレスをうまく解消し、ココロに溜め込んでしまう毎日をなんとかしたい。自身の専門性を発揮させ、生きがいを持ってお仕事に取り組めるようになりたい。本研修ではメンタルの基本的な考え方を学び、さらに心理的状态を改善する具体的な方法を学んでいただけます。</p>	<p>池江 俊博</p>	<p>メンタル・能力開発コンサルタント、NLP トレーナー、株式会社ノーザンライツ代表取締役</p>	<p>配信中</p>
<p><b>医療連携に必要な知識と技術</b></p> <p>(¥10,800)</p>	<p>医療職との円滑な連携を図るためには、連携に必要な共通言語としての基本的な医療に関する知識（高齢者の心身・疾病の特徴、観察の視点、体調変化と対応方法、薬や看取りの知識等）と技術（他職種との連携のコツ、社会資源の活用等の知識）の習得が必要不可欠です。本研修では、介護職を精力的にバックアップしてきた実績豊富な医療職の視点から医療連携に必要な知識及び技術を学んでいただきます。</p>	<p>大瀧厚子</p>	<p>保健師、看護師、介護支援専門員、福祉施設士、元特別養護老人ホーム施設長</p>	<p>配信中</p>
<p><b>チームワーク及びコミュニケーション力向上研修</b></p> <p>(¥6,000)</p>	<p>パフォーマンスを上げるには、個々の職員の生産性を高めることが重要です。生産性を高めるにあたっては、チームワークの強化が必須であるとともに、（チーム内外の協力体制を強固にするための）コミュニケーション力の向上も欠かせません。本研修は、チームワークの理解から、チーム内外の合意形成、コミュニケーションの基本である「伝える力」、「聴く力」の基本を学んでいただきます。</p>	<p>神 智淳</p>	<p>老年学修士、お茶の水ケアサービス学院院長、福祉サービス第三者評価者</p>	<p>配信中</p>
<p><b>排泄用具の選び方・付け方の基礎</b></p> <p>(DVD 収録 ¥18,900)</p>	<p>1. テープタイプのおむつの種類及び基本的な装着方法 2. パッド（インナー）の種類及び交換 3. 男性用パッド（インナー）の種類 4. 片マヒや拘縮の方のインナー及びアウターの使用方法 5. パンツタイプのおむつの種類 6. 座位及び立位の可能な方への装着技術 7. 骨折予防のプロテクターについて 8. シートタイプの種類と使用方法</p>	<p>牧野美奈子</p>	<p>看護師、介護福祉士、ケアマネジャー、介護予防主任運動指導員、コンチネンスアドバイザー（2007年 老年泌尿器学会 学会長賞受賞）</p>	<p>配信中</p>
<p><b>報告・指示の仕方</b></p> <p>(¥6,000)</p>	<p>『正しく伝える』、『正しく聴く』ための知識と技術を体系的に学び、他職種間及び上下間の伝達ミス無くすことを目的としています。伝達ミスが減少することで、事故や職員間（職種間を含む）のトラブルが減少するばかりでなく、チームの連携の強化にも結び付きます。</p>	<p>神 智淳</p>	<p>老年学修士、お茶の水ケアサービス学院院長、福祉サービス第三者評価者</p>	<p>配信中</p>

<p><b>介護従事者の「気づき」の力を高める研修</b></p> <p>(¥10,800)</p>	<p>利用者が心地よく安心して生活していくためには、個々の職員の『気づき』の力を養うことが求められます。また、『気づき』の力を高めるには、五感（味覚、聴覚、視覚、嗅覚、触覚）を働かせることとともに、専門領域の知識とともに経験及び情報の共有も極めて重要です。『気づき』の力の基礎となる洞察力、問いかける力、発見力、自省力を高めることを目的としております。</p>	<p>田島利子</p>	<p>介護福祉士・介護支援専門員。グループホームあんずの家（日本でもモデル的なグループホームの礎をつくったグループホーム）ホーム長</p>	<p>配信中</p>
<p><b>炎上させない苦情・クレーム対応</b></p> <p>(¥12,000)</p>	<p>苦情・クレームは情報源であり、施設や病院の成長になくてはならないものですが、苦手感があり、できれば避けたいし、プラスに導くことができない…。本研修は、「ご利用者様やご家族の立場にたって対応しましょう」という理想を学ぶものではありません。相手の心理や職員の心理を分析し、苦情・クレームに対する嫌悪感や苦手意識を軽減し、苦情・クレームを解決するプロセスを実践行動できる力をつけ、接遇力を高めることを目的としております。</p>	<p>濱島しのぶ</p>	<p>株式会社しののこ代表、介護支援専門員、全米NLP協会、日本NLP協会、LABプロファイルプラクティショナー認定資格</p>	<p>配信中</p>
<p><b>2018年（第21回）ケアマネジャー試験解答・解説セミナー</b></p> <p>(¥6,000)</p>	<p>2018年度の試験は、受験者数が大幅に減少したにもかかわらず、過去最も低い合格率10.1%となりました。来年度もケアマネジャーの資質向上が求められることから、大変厳しい試験になることが予想されます。本研修は、2018年（第21回）介護支援専門員実務研修受講試験の解答・解説を通して、ケアマネジャー試験の出題傾向を把握することが可能となります。また、2019度の受験への備えとしても活用していただけます。</p>	<p>竹内太一</p>	<p>社会福祉士、介護支援専門員、精神保健福祉士</p>	<p>2月～</p>
<p><b>看取り期及び死後のグリーフケア基礎研修</b></p> <p>(¥10,800)</p>	<p>グリーフケア（悲嘆のケア）は家族や介護職員等看取りケアに取り組んだ人が、看取りの体験を整理することによって、ダメージを和らげ、回復を図ろうとするものです。本研修では、グリーフケアの基本を学び、看取り期から死後における介護従事者の仕事（ケア）に対する考え方や姿勢（向き合い方）を見つめ直します。看取りケアに関わる現場の職員全てに必要なカリキュラムです。</p>	<p>山田美代子</p>	<p>西片医療福祉研究会代表、社会福祉学修士、社会福祉士、介護支援専門員、介護予防主任運動指導員</p>	<p>2月～</p>
<p><b>認知症高齢者とのコミュニケーション力の向上研修</b></p> <p>(¥10,800)</p>	<p>利用者の笑顔溢れる生活を支えるための最初のステップは、『利用者の思いに寄り添う』ことです。そのためには、専門性の高い『認知症高齢者とのコミュニケーション技術』が必要不可欠です。本研修は、認知症高齢者の立場（認知症の種類や特徴）を理解したうえで、言語のみのコミュニケーションに留まらず非言語のコミュニケーション（表情からスキンシップに至るまで）をどのように図るかを学んでいただきます。</p>	<p>田島利子</p>	<p>介護福祉士・介護支援専門員、グループホームあんずの家（日本でもモデル的なグループホームの礎をつくったグループホーム）ホーム長</p>	<p>2月～</p>
<p><b>接遇マナー研修～元東京ディズニーリゾート研修講師による実践研修～</b></p> <p>(¥10,800)</p>	<p>保健・医療・福祉サービス提供事業者にとって、サービスの質を高めることはとても重要です。しかし、質の高いサービスを提供していても、接遇マナーが伴っていないと、全体的なイメージは良くなることはありません。サービス提供の入口ないしは基礎となるのが接遇マナーです。本研修は、接遇の基礎知識から、コミュニケーションに至るまで、接遇全般を網羅しています。接遇に関する知識や技術だけではなく、ホスピタリティについて理解いただくことも重視しています。</p>	<p>石坂秀己</p>	<p>接客向上委員会 &amp; Peace 代表 ＜著書＞「ディズニーランドが教えてくれたみんなが笑顔で働ける習慣」、「ディズニーランドで語り継がれる魔法の言葉33」</p>	<p>2月～</p>

<p><b>介護虐待を 起こさないための 基礎研修</b></p> <p>(¥10,800)</p>	<p>事業所においては、不適切なケアや虐待に至らないように、虐待について振り返る機会には常に必要です。事業所での虐待防止のための視点と考え方、組織的な取り組み、発生した場合の適切な対処方法を学んでいただきます。</p>	<p>田島利子</p>	<p>介護福祉士・介護支援専門員、グループホームあんずの家（日本でもモデル的なグループホームの礎をつくったグループホーム）ホーム長</p>	<p>3月～</p>
<p><b>ケア従事者のための ハラスメント構造の 理解とその 対処法</b></p> <p>(¥12,000)</p>	<p>ハラスメントの基本的理解（ストレス反応としてのハラスメント行動・「自他境界の越境」の意義と暴走の理解）、ハラスメント構造とその対処法（パワハラと理解と対策・セクハラと理解と対策）、ハラスメント行動のコーピングの基本を学んでいただきます。</p>	<p>品川博二</p>	<p>臨床心理士、日本ケア・カウンセリング協会代表理事</p>	<p>3月～</p>
<p><b>介護リーダー 養成研修</b></p> <p>(¥10,800)</p>	<p>コーチングやNLP（神経言語プログラミング）、心理学をベースに介護リーダーの悩みを解決する6つのステップ（1.役割→2.指示・指導→3.スタッフ教育→4.情報共有→5.問題解決力→6.リーダーシップ）を介護現場でよくある事例と解決策でわかりやすく学んでいただきます。</p>	<p>三田村薫</p>	<p>介護支援専門員、米国NLP協会認定マスタープラクティショナー、JADPメンタル心理カウンセラー、GCSプロフェッショナルコーチ</p>	<p>3月～</p>
<p><b>力と意欲を引き出す 介助術</b></p> <p>(¥12,000)</p>	<p>1.安全・力がいらぬ（腰痛・転倒のリスクが低い）2.すべての対象者に使える（マヒ・寝たきり・認知症・言葉の通じない対象者）3.すべての介助者が使える（体格・年齢・筋力にハンディのある介助者）4.対象者の“機能維持”“意欲の維持”が可能である。5.リハビリテーションの考え方、技術を基本としている（運動学・神経生理学など）6.介助者の仕事に対する意欲とプライドを引き出す。これら6つ介助術が学べます。</p>	<p>福辺節子</p>	<p>一般社団法人 Natural being 代表理事、理学療法士、医科学修士、介護支援専門員、新潟医療福祉大学非常勤講師。NHK「ためしてガッテン」NHK Eテレ「楽ラクワンポイント介護」に出演</p>	<p>2月～</p>
<p><b>誰にでもできる寝たきり 重度の復帰 ケアと拘縮予防 ケア</b></p> <p>(¥10,800)</p>	<p>寝たきりのままでは、命のリスクに関わります。本研修会は、寝たきりになるプロセスを理解し、寝たきりにならないための予防、環境改善による寝たきり状態からの解放について学んでいただきます。また、「拘縮には痛みがある」ということを意識し、そのケアと予防ケアについても解説します。</p>	<p>加藤 慶</p>	<p>理学療法士、生活介護研究所尾張旭事務所所長。著書『介護スタッフのための安心！リハビリ知識』監修「拘縮対応ケアハンドブック」</p>	<p>3月～</p>
<p><b>お悩み解決！ これでできる機能 訓練の計画とその 実践</b></p> <p>(¥10,800)</p>	<p>機能訓練プログラムをよりよいものにしたとされている方々を対象に、機能訓練の計画・実施・評価の知識及び技術とともに業務を円滑にしていくための考え方や方法、機能訓練の加算等も網羅したカリキュラムです。</p>	<p>松本健史</p>	<p>理学療法士、介護支援専門員、社会福祉学修士、松本リハビリ研究所所長</p>	<p>3月～</p>
<p><b>介護リーダーのための 信頼関係構築スキル アップセミナー</b></p> <p>(¥10,800)</p>	<p>介護の現場はリーダー・スタッフとの信頼関係がサービスの質を左右すると言っても過言ではありません。リーダーは忙しい現場を良くしようと色々なアイデアを持っていますが、信頼関係ができていないとその想いは伝わりません。本研修は、簡単だけど効果絶大！理にかなった方法で新たな信頼関係構築を目指す！ そんな秘訣を学んでいただきます。</p>	<p>齊藤浩二</p>	<p>介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員、認知症介護指導者、米国NLP協会、日本NLP協会、LABプロファイルプラクティショナーの認定資格</p>	<p>3月～</p>
<p><b>現場の理学療法士が 教える転倒予防集中 研修</b></p> <p>(¥10,800)</p>	<p>高齢者を介護している中で起こりやすい転倒事故にポイントを絞り、その予防方法について学んでいただきます。介護現場での経験豊富な理学療法士が伝える元気を維持するリハビリ介護方法は目からウロコの連続です。実際の事例や取り組みを紹介し、介護方法、体操など実技も行います。</p>	<p>松本健史</p>	<p>理学療法士、介護支援専門員、社会福祉学修士、松本リハビリ研究所所長</p>	<p>4月～</p>

<b>感染症の予防及び発生時の対応基礎研修</b> (¥10,800)	感染症の理解から、感染症予防の取り組み、発生時の対応（感染症別）、衛生管理、健康管理、感染症委員会の体制作りと運営について、包括的に学んでいただきます。施設での感染症の発生の芽を摘むとともに、発生しても重大な事態に発展しない体制整備にお役立てください。	大瀧厚子	保健師、看護師、介護支援専門員、福祉施設士、元特別養護老人ホーム施設長	4月～
<b>アルツハイマー型認知症高齢者へのケアの知識と技術</b> (¥10,800)	認知症には、アルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症、正常圧水頭症等をはじめとする100以上の原因があるとされています。それぞれの原因により、認知症高齢者のアセスメントやケアにおいては、違いがあります。本研修は、認知症の中でも最も多くの割合を占めるアルツハイマー型認知症について、進行度により介護従事者がどのように関わっていくのかを学んでいただきます。	田島利子	介護福祉士・介護支援専門員、グループホームあんずの家（日本でもモデル的なグループホームの礎をつくったグループホーム）ホーム長	4月～
<b>介護リーダーに必要な業務改善のための4つの力</b> (¥10,800)	業務改善の成果を上げ、効果をリバウンドなく継続させるためには「4つの力」（目標力・情報共有力・信頼関係力・育成力）が必要です。これら「4つの力」に基づき、職場を分析し、効率良い改善点を見つけ、行動し、成果を出すノウハウを学んでいただきます。	小田昌敬	社会福祉士、ファシリテーター株式会社代表取締役	4月～
<b>ヒヤリ・ハット報告及び事故分析の基礎</b> (¥10,800)	事故防止につながるヒヤリ・ハット報告書にするためには、1. 事業所が『事故をどのように捉え、どう向き合うか』が重要です。そして、その方向性が定まることで、2. 事故の分析をどのようにするかが具体化し、3. ヒヤリ・ハット報告書をどのような書式にし、活用するかが決まります。このような一連の取り組みを可能にするために、リスクマネジメントの基礎とともに、ヒヤリ・ハットの報告から分析に至るまで、体系的に学んでいただきます。	木原康彦	カイロス・ヒューマンファクターズ研究会代表（元日本ヒューマンファクター研究所リスク管理研究室長）	4月～
<b>かちんむかっぐさの心理学研修～対人トラブルの心理学～</b> (¥12,000)	他者との出会いが、対人ストレスとなることがよくあります。この対人ストレスが問題なのではなく、この対人ストレスを対人トラブルにしてしまうことが問題なのです。本研修会では、対人ストレスを対人トラブルにしないための理論を学んでいただきます。	品川博二	臨床心理士、日本ケア・カウンセリング協会代表理事	4月～
<b>教育担当者向け研修企画講座</b> (¥3,000)	研修担当者には、ニーズの把握からテーマの設定、参加者の調整、資料の作成等、多岐にわたる作業が求められます。介護業務等を行うかたわらでこれらの作業を担うことは、研修企画が専門の業務ではない研修担当者にとって、大変な労力を割かれるとともに多大な苦勞をされていることと思います。 本研修は、介護保険制度前より、全国での研修を企画・運営してきた専門家より、研修企画のノウハウを学んでいただきます。	神 智淳	老年学修士、お茶の水ケアサービス学院学院長、福祉サービス第三者評価者	4月～
<b>褥瘡予防のための状況別ポジショニング</b> (¥12,000)	ご利用者、患者様の生活を支えるためのポジショニングの知識と技術は、専門性が高く、ポジショニングの仕方ひとつで褥瘡が発生したり、変形・拘縮を増強してしまったりすることもあります。時には、ポジショニングを実践する看護師、介護者の健康を害することもあるのではないのでしょうか。本研修では、ポジショニングの基本について、ズレの解放、症状・状況別のポジショニングの理論と技術を学んでいただきます。	加島 守	理学療法士、高齢者生活福祉研究所所長 財団法人保健福祉広報協会評議員、厚生労働省「身体拘束ゼロ作戦推進会議ハード改善分科会」委員	5月～

<b>摂食及び嚥下に関する基礎研修</b> (¥10,800)	楽しく（美味しく）安全な食事をするためには、食事の本質的な理解のもと、アセスメントから実際の支援に至るまで、摂食・嚥下に関する知識・技術を習得することが必要不可欠です。 本研修では、食事の意義、摂食及び嚥下、食事介護（姿勢、用具の活用、スプーンテクニック）、アセスメント、支援技術、口腔ケア、口腔機能向上について学んでいただきます。	佐藤彰紘	作業療法士、目白大学専任講師。「介護スタッフが現場で行える摂食嚥下リハビリ」をモットーに指導を行い、肺炎での入院者数を1/3まで減らすことに成功している。	5月～
<b>ターミナルケア基礎研修</b> (¥10,800)	利用者の容態の急変があり、家族の思いも大きく揺れ動く終末期において、適切なケアを行うには、事業者のターミナルケアの考え方から、職員の能力向上、職員のバックアップ、家族との連絡体制や医療連携の確立等様々な検討と準備が必要不可欠です。利用者が安らかに旅立ち、そしてご家族が悔いを残さないよう、ターミナルケアの実践に必要な知識と技術及び考え方を学んでいただきます。	大瀧厚子	保健師、看護師、介護支援専門員、福祉施設士、元特別養護老人ホーム施設長	5月～
<b>ふろフェッショナル！入浴ケアの達人育成研修</b> (¥10,800)	入浴は生活動作の中で一番難しく、ご本人にとっても介助者にとっても精神的及び身体的にハードな行為（業務）になりがちです。とても大変な業務ではありますが、ご利用さんが肩までつかってほっこりする入浴を実現したいところでもあります。本研修は、解剖学・運動学の知識を知り、日ごろの生活の中でご利用者の環境を考え、力を引き出す介助の視点を持つことにより、入浴という大変難易度の高い生活動作を安心かつ負担を軽減して介助できるようになっていただくことを目的としております。	松本健史	理学療法士、介護支援専門員、社会福祉学修士、松本リハビリ研究所所長	5月～
<b>医療的ケア講習会</b> (¥18,000)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 制度の概要 介護職員等による医療的ケアの実施に関する制度の概要</li> <li>2. 医療的ケアの基礎 感染予防、安全管理体制等について基礎的知識</li> <li>3. 喀痰吸引 喀痰吸引について基礎的知識、実施手順及び指導・評価方法</li> <li>4. 経管栄養 経管栄養について基礎的知識、実施手順及び指導・評価方法</li> <li>5. 演習 喀痰吸引及び経管栄養の演習に係る指導・評価方法</li> </ol>	大瀧厚子	保健師、看護師、介護支援専門員、福祉施設士、元特別養護老人ホーム施設長	5月～
<b>「利益を生み出す」生活相談員の仕事術</b> (¥10,800)	昨今、生活相談員の仕事において、相談援助（ソーシャルワーク）だけではなく、稼働率管理（経営的な仕事）の占める割合が高まっています。相談援助については、養成校や研修会等で学ぶ機会もありますが、稼働率管理については学ぶ機会すらなく、どうすればいいのか悩んでいる生活相談員も少なくありません。本研修では、ズバリ！生活相談員の行う稼働率管理に焦点をあて、さまざまなノウハウを学んでいただきます。	口村 淳	博士（社会福祉学）、介護支援専門員、社会福祉士、介護福祉士。特養、ショートステイ、デイサービスの生活相談員を経て、現在は特養の介護課長として従事。同志社大学社会学部嘱託講師。	5月～
<b>認知症研修アセスメント編</b> (¥10,800)	多忙を極める現場においては課題分析標準項目（23項目）が中心のアセスメントになってしまっているのではないのでしょうか？ 23項目のアセスメントだけでは、画一的なケアになってしまいがちで、それぞれの認知症高齢者の真の生活を支えていくことには繋がりません。本研修は、より専門的なアセスメントの知識と技術を習得することを目的としています。	田島利子	介護福祉士・介護支援専門員、グループホームあんずの家（日本でもモデル的なグループホームの礎をつくったグループホーム）ホーム長	6月～

<p><b>事故予防と緊急時対応研修</b></p> <p>(¥10,800)</p>	<p>どんなに利用者に満足のいくサービスを提供していても、緊急時の対応が適切でないことにより、今迄築きあげた関係が崩れてしまう可能性があります。また、利用者や家族は事業所に心のこもったサービスの提供とともに、利用者の『安心』、『安全』も求めています。利用者の急変や現場での事故はいつ起きるか予測ができないため、日頃からの準備が必要不可欠です。本研修では、事故防止のための視点と正確な対応方法を学んでいただきます。</p>	<p>大瀧厚子</p>	<p>保健師、看護師、介護支援専門員、福祉施設士、元特別養護老人ホーム施設長</p>	<p>6月～</p>
<p><b>コーチング研修 〈人材育成の知識と技術〉</b></p> <p>(¥10,800)</p>	<p>介護職員の育成担当者にとって“人材の育成（教育）の知識及び技術を学ぶ機会が少くない”こともあり、体系的かつ効率的な育成（教育）が十分に行なえていない状況もあるのではないのでしょうか？ 例えば、“プロ意識を持ってくれない、同じミスを繰り返してしまう、伝えた内容を理解してくれない”等、教育担当者が思ったような育成（教育）ができずに悩んでいるケースも多いと思います。本研修では、コーチング技法の基礎とともに、実践的な人材育成の知識及び技術を習得していただきます。</p>	<p>田島利子</p>	<p>介護福祉士・介護支援専門員、グループホームあんずの家（日本でもモデル的なグループホームの礎をつくったグループホーム）ホーム長</p>	<p>6月～</p>
<p><b>事例で学ぶ生活相談員支援力アップ基礎</b></p> <p>(¥10,800)</p>	<p>さまざまな課題を抱えるご利用者に対して、チームケアでの支援の重要性が高まる中、生活相談員に期待される役割は大きいです。本研修では、生活相談員が業務を行う上で、基盤となるソーシャルワークの基本を理解し、多様化する業務をいかに展開していくのか、わかりやすくお伝えします。</p>	<p>梅沢佳裕</p>	<p>日本福祉大学福祉経営学部医療・福祉マネジメント学科助教、福祉と介護研究会35代表、社会福祉士、介護支援専門員</p>	<p>計画中 随時</p>
<p><b>明日からできるシーティング講座</b></p> <p>(¥12,000)</p>	<p>脳血管疾患症例は発症と同時に未体験の重力環境下に晒され、代償的な重力適応を求められます。シーティングによる適切な重力適応を提供することで、誤嚥性肺炎などの二次障害の予防に留まらず、潜在能力の高い脳血管疾患症例では早期覚醒や歩行自立による入院期間の短縮をもたらします。本研修は、依頼が増加すると予想される脳血管疾患症例のシーティングをマスターすることを目標とし、基礎知識や評価方法を学んでいただきます。</p>	<p>串田 英之</p>	<p>作業療法士、シーティングエンジニア、介護支援専門員。2014年光野有次氏らと共著「寝かせきりにしない『坐り』ケアの実践」</p>	<p>計画中 随時</p>
<p><b>BPSD（行動心理症状一周辺症状）対応研修 〈認知症研修〉</b></p> <p>(¥10,800)</p>	<p>認知症ケアの難しいところは、利用者一人ひとりへの個別の対応が必要なため、「ある利用者のケアで上手くいった」というような経験則があまり通用しないことです。介護者は、利用者の千差万別に現れるBPSDに適切なケアをすることが求められます。本研修では、認知症（中核症状・BPSDを含む）を理解し、「BPSD」における対応方法を学んでいただきます。</p>	<p>田島利子</p>	<p>介護福祉士・介護支援専門員、グループホームあんずの家（日本でもモデル的なグループホームの礎をつくったグループホーム）ホーム長</p>	<p>計画中 随時</p>
<p><b>認知症の方へのコミュニケーション法 ～バリデーション～</b></p> <p>(¥12,000)</p>	<p>バリデーションとは、アルツハイマー型認知症および類似の認知症の方とコミュニケーションを行うための方法の一つです。認知症の方に対して、尊敬と共感をもって関わることを基本とし、尊厳を回復し、引きこもりに陥らないように援助するコミュニケーション法です。このバリデーションは、認知症の方だけでなく、介護者またはご家族にも役立ちます。コミュニケーションがラクになり、認知症の方やそのご家族のストレスやフラストレーションの軽減にもなります。</p>	<p>都村尚子</p>	<p>関西福祉科学大学社会福祉学部教授、臨床教育学博士、バリデーション・ティーチャー</p>	<p>計画中 随時</p>



<p><b>介護事業所のための チームワーク向上 研修</b></p> <p>(¥10,800)</p>	<p>どんなタイプの介護事業所でも、仕事の基本はチームワークです。介護職員が、「反抗的」「威圧的」「消極的」な態度の場合、表面的には全く違う態度のようですが、このような態度を取る職員の特徴は、「認められていない」という感情が根底にあります。本研修では、チームワーク向上のための必要な手法やテクニックを学んでいただきます。</p>	<p>三田村薫</p>	<p>介護支援専門員、米国NLP協会認定マスタープラクティショナー、JADPメンタル心理カウンセラー、GCSプロフェッショナルコーチ</p>	<p>計画中 随時</p>
<p><b>法令遵守に沿った 介護記録集中研修</b></p> <p>(¥10,800)</p>	<p>記録の目的と正しい書き方の基本を知ること、専門職のみならず利用者・ご家族にも伝わる文章を時間を費やさずに効率的に書くことができます。どこをどのように書けばコンプライアンス（法令遵守）に沿った介護記録になるのか…。介護場面ごとに文例を交えて「書き方のルールとコツ」を学んでいただきます。</p>	<p>梅沢佳裕</p>	<p>日本福祉大学福祉経営学部医療・福祉マネジメント学科助教、福祉と介護研究会35代表、社会福祉士、介護支援専門員</p>	<p>計画中 随時</p>
<p><b>介護技術研修 ～起き上がり・移乗～</b></p> <p>(¥10,800)</p>	<p>移乗は、介護者もご利用者様も傷つける可能性があるというリスクを背負っています。そのリスクを少しでも改善するために、体の動作を分析することがとても重要です。本研修は、分析からわかる体のメカニズムを最大限に活かし、介護者自身もご利用者様も傷つけない介護法を学んでいただきます。</p>	<p>大塚 洋</p>	<p>新しい介護研究所代表、理学療法士、介護支援専門員、福祉用具専門相談員、キャラバンメイト、生活リハビリ研究所・介護アドバイザー</p>	<p>計画中 随時</p>
<p><b>どんな環境でも活用 できる介護技術研修 (移乗・応用編)</b></p> <p>(¥10,800)</p>	<p>移乗（トランスファー）は、生活の質を高めるための重要な役割を担います。また、「何かに乗り移る」という物理的な介助（行為）のみならず、コミュニケーションの一つとして、とても大切な要素も持ち併せています。本研修は、移乗の基本を確認しながら、利用者の状態に合わせた移乗方法を学んでいただきます。なお、移乗のための福祉用具は使用しませんので、どんな環境（福祉用具の導入が難しい事業所）でも活用できる技術となっています。</p>	<p>大塚 洋</p>	<p>新しい介護研究所代表、理学療法士、介護支援専門員、福祉用具専門相談員、キャラバンメイト、生活リハビリ研究所・介護アドバイザー</p>	<p>計画中 随時</p>
<p><b>介護現場に即した業務改善スキルアップ</b></p> <p>(¥10,800)</p>	<p>「業務改善」という考え方の研修はありますが、介護現場に即した業務改善の方法を教えてくださいません。本研修は、誰も教えてくれなかった「たった一つの視点とその方法」で忙しい介護現場の業務を整理し、追いつけをかけるケアの重度化、退職者回避などに対しての時間の作り方を学んでいただきます。</p>	<p>齊藤浩二</p>	<p>介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員、認知症介護指導者、米国NLP協会、日本NLP協会、LABプロファイルプラクティショナーの認定資格</p>	<p>計画中 随時</p>
<p><b>基礎からわかるアセスメント実践研修</b></p> <p>(¥10,800)</p>	<p>プラン作成のためだけでなく、利用者に向き合い対象者の変化を引き出す介護・医療をするために、全ての介護・医療従事者にとってアセスメントは必要不可欠です。本研修は、アセスメントの基本（対象者のニーズを見つけるためのトップダウンの思考方法・アセスメントにおけるICFの考え方など）、アセスメントの具体的な進め方（情報収集からニーズの把握、生活機能評価の実際、目標の設定まで）を学んでいただきます。</p>	<p>福辺節子</p>	<p>一般社団法人 Natural being 代表理事、理学療法士、医科学修士、介護支援専門員、新潟医療福祉大学非常勤講師。NHK「ためしてガッテン」やNHKEテレ「楽ラクワンポイント介護」に出演。</p>	<p>計画中 随時</p>
<p><b>介護施設・居住施設の効果的な虐待防止の具体策</b></p> <p>(¥12,000)</p>	<p>虐待は暴力だけではありません。利用者の訴えを無視することも虐待にあたります。さらに、声を掛けられないくらい職員同士固まってしゃべっている「だめだめ!」「危ない!」「座ってて!」という言葉かけは、虐待とされないまでも、「不適切ケア」と呼ばれ、いずれ虐待に発展する可能性を秘めています。本研修では、こうした虐待、不適切ケア、そして身体拘束も含めて、一貫した考え方に基づいて、基礎知識と具体的対策を学んでいただきます。</p>	<p>榊原宏昌</p>	<p>天晴れ介護サービス総合教育研究所株式会社代表取締役、介護福祉士、介護支援専門員</p>	<p>計画中 随時</p>



<p><b>看取りケア研修 実践編</b></p> <p>(¥10,800)</p>	<p>終末期において、適切なケアを行うには、事業者の看取りケアの考え方、事業所内の体制作り、医療連携の確立や家族との協力体制等様々な取り組みが必要です。そして、利用者や家族に対する具体的な支援の方法や亡くなった後のエンゼルケアやグリーンケアに至るまで、どの部分もデリケートで必要不可欠なプロセスです。それぞれのプロセスに必要とされる知識、技術、心のあり方までを実践の取り組みを通して学んでいただきます。</p>	<p>田島利子</p>	<p>介護福祉士・介護支援専門員、グループホームあんずの家（日本でもモデル的なグループホームの礎をつくったグループホーム）ホーム長</p>	<p>計画中 随時</p>
<p><b>アドラー心理学に 学ぶコミュニケーション スキルアップ</b></p> <p>(¥12,000)</p>	<p>ご家族からのクレーム、利用者からの拒否、インシデントやアクシデントが続く…。こんな時に自分を責めてしまうと、どんどん考えが負のループとなってしまい、そこから抜けられなくなってしまいます。でもちょっと考え方や見方を変えると、その状況が「チャンス！」と思え、他者（相手）への対応のバリエーションが増えた！ということになるかもしれません。考え方のコツとして、原因追及ではなくアドラー心理学の「目的論」を学んでいただきます。</p>	<p>野崎美香</p>	<p>言語聴覚士、Clown one japan 認定クラウンアンバサダー、一般社団法人エフェクティブコーチング協会認定 SCAN ハンドラー、Life Lab LUCE 代表</p>	<p>計画中 随時</p>
<p><b>医療・介護職のための アンガー・コントロール （怒り感情の 自己抑制）</b></p> <p>(¥12,000)</p>	<p>アンガー（イライラ、怒りの感情）をマネジメント（上手に付き合う）することで、怒りのエネルギーをもっとポジティブに使いましょう。それは、「怒るな・我慢しろ」ということではありません。「怒りの管理術」は精神論でも、自己啓発でもなく、知識と技術を組み合わせた“スキル”です。本研修では、医療・介護職に求められる感情リテラシー（感情制御）について学んでいただきます。</p>	<p>品川博二</p>	<p>臨床心理士、日本ケア・カウンセリング協会代表理事</p>	<p>計画中 随時</p>
<p><b>血管性認知症高齢者 へのケアの知識と 技術</b></p> <p>(¥10,800)</p>	<p>認知症には、アルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症、正常圧水頭症等をはじめとする100以上の原因があるとされています。それぞれの原因により、認知症高齢者のアセスメントやケアにおいては、違いがあります。本研修は、血管性認知症の理解とともに、脳の障害の起きた部位や範囲により症状は異なるため、その症状に対して介護従事者がどのように関わっていくのかを学んでいただきます。</p>	<p>田島利子</p>	<p>介護福祉士・介護支援専門員、グループホームあんずの家（日本でもモデル的なグループホームの礎をつくったグループホーム）ホーム長</p>	<p>計画中 随時</p>

※上記は配信予定の一部です。ご要望や必要性に応じて随時新しい研修を配信して参ります。また、配信予定や内容は変更する場合がございます。